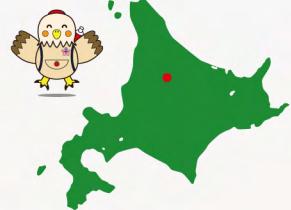


 takasu magazine -ふるさとたかすから、みなさんへ

# ふるさと通信

[平成29年冬号]





## ふるさと通信 第15号 (平成20年6月発刊)

「ふるさとサポーター制度」の取り組みとして4年ぶりに復刊。町とのつながりを深め、PRやアドバイスなどのサポート活動を通して、町を応援していただきたいとの思いから創設しました。ふるさとサポーターへ登録していただいた方へのプレゼント企画として、オオカミの桃やパレットヒルズの写真を使った「名刺台紙」や「絵はがき」をプレゼントしました。

## ふるさと通信 第25号 (平成25年6月発刊)

平成25年より取り組みがはじまった「親と子 心のかけはしプロジェクト」を紹介。いつまでも親子やふるさと鷹栖との絆を大切にしてほしいという思いで、生まれてきた子どもたちへ、町の間伐材を使用した記念品を贈呈する事業です。また、ふるさとサポーターの皆さんからいただいた応援メッセージを掲載しました。



## ふるさと通信 第31号 (平成28年7月発刊)

パンフレットのように手軽に読んでいただけるよう、A5版8ページへ仕様を変更しました。

見開き2ページを使い、北斗地区にある商店や東京都浅草の商業施設「まるごとにっぽん」へ出展している「鷹栖町活性化協議会」の紹介をしました。



## ふるさと通信 第33号 (平成29年6月発刊)

第32号で皆さんからいただいたアンケートを参考に、取材先や掲載する記事を選定しました。

木工クラフトを製造、販売している「森風社」やアットホームな雰囲気の飲食店「やき鳥居酒屋 ふくい」を紹介しています。

平成27年度よりふるさと通信の発行に携わり3年。今回で6号目の制作となりました。

みなさんからいただいたご意見・ご感想を参考にしながら、「ふるさと鷹栖を思い出していただきたい」、また、パンフレットのような感覚で手に取り、読んでいただき「鷹栖町のことをさらに知っていただきたい」との思いでふるさと通信を制作しています。

(長原)



## 一ふるさと鷹栖からの贈りもの

# ふるさと通信 に込める思い

平成9年に創刊された「ふるさと通信」は、「生まれ育った町」鷹栖町を離れた人に、ふるさとを思い出していただきたいとの思いが込められ発行されました。創刊から20年が経った今、鷹栖町を応援してくださるみなさんに読んでいただいている「ふるさと通信」の歴史を紹介します。

## ふるさと通信 創刊号 (平成9年7月発刊)

A4版の4ページで「東京の娘へ」など親から町外に住んでいる子へ向けたメッセージを掲載しています。

また、昭和50年頃と発刊時のイベントや小学校の様子を写真で紹介。

「ふるさと鷹栖」の懐かしい風景を思い出すことができる創刊号です。



## ふるさと通信 第2号 (平成9年12月発刊)

町内の施設やスポットを紹介する「ふるさと探訪」の連載が始まり、1回目は平成6年にオープンした「たかすメロディーホール」を紹介しました。

また、第1号で募集した「おじいちゃん おばあちゃんの似顔絵」を掲載。孫から鷹栖町に住んでいる祖父母への思いも込められた1冊となりました。



## ふるさと通信 第6号 (平成11年12月発刊)

平成11年11月にオープンした「サンホールはぴねす」の紹介や当時、話題となった「産業廃棄物処分場建設設計画」に対する町民運動の経過を掲載。

また、「ふるさとへの絵手紙」として町外に住んでいる方から送っていただいた絵手紙を紹介しました。



1. ディナーを楽しみに来たご家族  
2. お酒に合うピザとアヒージョ  
3. オシャレな雰囲気が印象的なお店

## Bistro Piece

鷹栖町北野東2条1丁目8番1号  
TEL 0166-76-4996  
営業時間/11:00~14:30(Lo14:00)  
17:00~21:00(Lo20:30)  
定休日 /日・祝日(不定休)  
席 数 /テーブル 25席  
小上がり 13名まで  
(個室完備)  
駐車場 /7台程度



Facebook

数年前から物件を探し始め、偶然、現在のお店となる空き家を見つけたそうです。

「キッチンがとても広く、住んでいた方もとても良い方だったのでこの場所に決めました」と教えてくれました。

そして、今年の春から約5ヶ月間をかけ改築し、ようやく9月に完成。

「木材のカット、いい打ち、壁の張替えなど、作業は大変でしたが、頑張りました」と振り返ります。

一番のこだわりは「大きい黒板」。

「角度は真っ直ぐではなく、斜めになりました。斜めの方がオシャレだし、下からも見やすいので」と笑顔で話す桜子さんと「斜めに取り付けるのはとても大変でした」と笑う宗平さん。

黒板のメニューは時期により変わるので、行く度にチェックするのも楽しいかもしれません。

バリアフリーにも対応しているため車イスの方や子ども連れの方も安心して食事を楽しむことができます。

町民の方からは「歩いて行けるので嬉しい」と喜ばれるそうで、「フラつとひとりで飲みに来たり、近所の方が集まってワイワイ楽しめるお店にしていきたい」と笑顔を見せます。

明るく、気さくな雰囲気のご夫婦が営む「Bistro Piece」は、これからも多くの方から愛されるお店になっていくでしよう。



## —このお店で過ごす時間が 大切なひとつのPieceになってほしい

平成29年10月5日、北野地区の住宅街にオープンした「Bistro Piece」。お店を営む、オーナーシェフの野原宗平さんと妻の桜子さんの明るい雰囲気に包まれた店内は、今日も多くのお客様で賑わっています。

宗平さんが飲食業の道へ進んだのは、今から6年前の2011年。

「もともと料理に興味はあったけれど、飲食業を営んでいる親戚や友人がいることも影響したのかも」と話します。

そして会社を退職し、旭川市内のホテルで料理の勉強をしながら、腕を磨き、独学で調理師とジュニア野菜ソムリエの資格を取得したそうです。

いつかは、町内に自分のお店を持ちたいと思っていた宗平さん。

**Bistro Piece ×  
野原 宗平 桜子**



## 挑戦し続ける 荻田 泰永

2000年から18年間に渡り、15回も北極圏を冒険している北極冒険家の荻田泰永さん。初めて北極を冒険したのは22歳のときでした。

大学生の頃から、自分が見ている世界に狭さを感じ「新しい世界を見てみたい」と思っていたそうです。

「当時は、『自分には何かできるはず』という根拠のない自信がありました。何かをするためのエネルギーはあるけれど、そのエネルギーをどこに使えばいいのかわからないくて」と当時の心境を振り返ります。

そのような状況の中、偶然見ていたテレビ番組で冒険家 大場満郎さんの話と、「来年は若者を連れて北極を歩こうと思っている」という言葉に惹かれ、すぐに大場さんへ手紙を書きました。

荻田さんは、北極への冒険の中で得た経験を、たくさんの人に伝えて行きたいとの思いから、講演や子ども向けの冒険プロジェクトの開催にも取り組んでいます。2012年から毎年開催している「100milesAdventure」は、少人数の子どもたちとキャンプをしながら目的地まで歩く冒険プロジェクト。

そして、北極の海水上700kmを35日間歩く「北磁極を目指す冒険ウォーク」に参加することになりました。「北極への旅は全てが新鮮でとても面白かった。でも帰国後は今までの日常生活に戻ってしまった」と話します。そして「もう一度北極へ行きた」と話します。

「北極への旅は全てが新鮮でとても面白かった。でも帰国後は今までの日常生活に戻ってしまった」と話します。そして「もう一度北極へ行きた」と話します。



8/6~8/18「100milesAdventure2017」

荻田さんは、現在、約50日間かけて1,130キロ先の南極点を目指す、新たな冒険に挑戦しています。

旅の途中で外部からの物資補給を受けずにひとり、徒步で南極点を目指す「南極点無補給単独徒步到達」。食料やテント、燃料などの荷物をソリにつみ、重量100kgもある荷物を引きながら道なき道を歩く過酷な旅です。11月10日に日本を出発、15日に南極大陸の沿岸部に入り、2週間が経過しました。

成功すれば日本人初となる、大きな挑戦。「北極への冒険を始めて18年、南極点への旅は、新たな世界を見るためのひとつの大挑戦。未知の世界を見て、新鮮な気持ちでワクワクを感じた」と話し、日本を出発した荻田さん。帰国後、どのような冒険の話を聞くことができるのかとても楽しみです。

これからも荻田さんのさらなる挑戦は続いていくのでしょうか。



全ての写真提供/荻田 泰永さん

## 北極冒険家 荻田 泰永

鷹栖町在住  
mail ogita@northpoleadventure.jp



ホームページ

Facebook



小中学校、保育園で鷹栖町産の食材のみを使用した給食の日を実施。子どもたちは、「いつもよりおいしく感じる」と笑顔いっぱいです。

町民の足として、子どもから大人まで多くの方が利用する「町営バス」。  
老朽化に伴い、小型の車両に更新しました。



雨天や冬季でものびのびと遊べるよう、室内用の運動用具を購入。  
低年齢児も遊びやすいマット、色々な組み合わせで遊べるブロックなど、子どもたちに大人気です。

## ふるさとサポーター限定プレゼント

ピストロ ピース  
「Bistro Piece」の食事券2,000円分と  
町の事業として、毎月8日から14日の  
期間中に町内の飲食店で使用している  
「鷹栖町産ななつぼし」5kgをセットにし  
10名の方にプレゼントします。

申込方法・申込期日等は  
同封した申込用紙をご覧ください。



／「Bistro Piece」＼  
でも使用 !!

### ～お知らせ～

ふるさとサポーターの方に  
メールマガジンの配信を始めます！  
町のイベント情報や取り組みなど、  
ほっとなニュースをメールでお届け♪  
興味のある方は、こちらからご登録を



▲町ホームページへ



▲申込はコチラから

鷹栖町  
ふるさと  
まちづくり  
応援寄附

### 【平成29年度の寄附】

件 数:3,141件  
金 額:44,223,350円  
(H29.4～H29.10月末)

表紙写真：「Bistro  
Piece パスタランチ」